

Cochlear™

Nucleus® CR230 リモート アシスタント

取扱説明書



Hear now. And always


Cochlear®

Cochlear™ Nucleus® (コクレア・ニュークレアス) CR230 リモートアシスタントは、Cochlear Nucleus CP910 および CP920 (CP900 シリーズ) サウンドプロセッサまたは Kanso® (カンソ) (CP950) サウンドプロセッサの操作と状態の確認を手元で行うための携帯型機器です。

リモートアシスタントを使用すると、状態 (電池残量など) とトラブルシューティングの詳細を含む、サウンドプロセッサの重要な情報にアクセスすることができます。

リモートアシスタントを使ってサウンドプロセッサの設定を調整できます。サウンドプロセッサを2台お使いの場合、リモートアシスタントを使って両方のサウンドプロセッサを操作することができます。

本書は、Cochlear Nucleus CP910、CP920、または Kanso サウンドプロセッサを使用する人工内耳装用者およびその介助者を対象としています。保護者または介助者は、リモートアシスタントを使って子どものサウンドプロセッサをチェックしたり管理したりすることができます。

サウンドプロセッサの詳細については、取扱説明書を参照してください。

注記

CR230 リモートアシスタントと構成部品の使用に関連する警告および注意については、「警告」のセクションを参照してください。

注記

Cochlear 人工内耳システムに該当する基本的なアドバイスについては、『警告と予防措置の手引き』も参照してください。

本書で使用する記号



アドバイス

重要な情報またはアドバイスです。



ヒント

効率的にお使いいただくためのヒントです。



注意

安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。機器が破損する恐れがあります。



警告

安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。人体に有害となる恐れがあります。

CR230 リモートアシスタント

前面



裏面



概要

持ち方と使用方法

リモートアシスタントは、手のひらにのせて持ちます。サウンドプロセッサから2メートル(約6フィート)以内の距離で操作します。距離が2メートルを超えると、通信に時間がかかったり、通信が途絶える場合があります。



サウンドプロセッサとリモートアシスタントとの間の通信に干渉が発生した場合は、以下を試してください。

- ・ リモートアシスタントの持ち方を変える。
- ・ 干渉源となりうる電子機器から離れる。

操作

ホームボタンを押すと、前のメニューまたはホーム画面に戻ります。

左矢印ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

OK ボタンを押すと、画面上のオプションを選択したり、メニューに入ります。



メッセージが表示された時に、上または下矢印ボタンを押すと、メニューのオプションを選択したり、設定を変更できます。

右矢印ボタンを押すと、次の画面に進みます。



概要

ロック / ロック解除

リモートアシスタントをロックすると、操作ボタンが誤って押されるのを防げます。

ボタン操作ロックを下にスライドするとリモートアシスタントがロックされ、上にスライドするとロックは解除されます。





ボタン操作ロックを上下にスライドすると、[ロック解除されました] または [ロックされました] 画面が表示されます。

ロックされている間はリモートアシスタントの電源を切ることはいけません。

ヒント

ボタン操作ロックを使うと、リモートアシスタントの電池残量を表示できます。



概要

目次

概要

前面	1
裏面	1
持ち方と使用方法	2
操作	3
ロック / ロック解除	4

充電

電源を入れる	13
言語の選択	14
ペア設定	15
電源を切る	17

使用する	19
状態確認アイコン	20
ホーム画面のプログラム表示	22
SCAN プログラム	23
カスタムプログラム	24
プログラムの変更	25
プログラム名ではなく番号で表示	25
練習モード	26
アドバンスモード	28
プラグインオーディオアクセサリ	29
ワイヤレスアクセサリ	30
テレコイル	32
2 台のサウンドプロセッサの操作	34

調整する	37
音量と感度	39
低音と高音	40
主音量	41



設定	43
テレコイルミキシング比率	45
アクセサリミキシング比率	46
左 / 右の調整	47
サウンドプロセッサのボタン操作	48
サウンドプロセッサのパーソナルアラーム	48
サウンドプロセッサの表示ランプ	49
リモートアシスタントのパブリックアラーム	50
ワイヤレスマイクロホンの確認	51
警告画面	52
SCAN アイコン	53
お手入れ	55
清掃	56
リモートアシスタントが濡れた場合	56
保管	57
トラブルシューティング	59
警告画面	60
システムの詳細の表示	62
サウンドプロセッサの設定のリセット	63
リモートアシスタントのリセット	64
その他の問題	65
警告	68
その他の情報	69

リモートアシスタントの充電

コクレア社は以下の場合にリモートアシスタントをフル充電することを推奨します。

- ・ リモートアシスタントを初めて使用する前に
- ・ リモートアシスタントの**電池残量表示**画面に電池残量が少ないことが表示されたとき
- ・ リモートアシスタントに電池残量が少ないまたは電池切れと表示されていなくても、週に1回

内蔵の充電電池が完全に放電した場合、充電完了までに2～4時間かかることがあります。充電電池が古くなると充電にかかる時間が長くなる場合があります。

フル充電されたリモートアシスタントは、1～2週間の動作が可能です。ただし、1回の充電に対する電池寿命は以下の条件によって異なります。

- ・ 使用量
- ・ 使用していない時にリモートアシスタントの電源を切っているかどうか
- ・ リモートアシスタントで操作しているサウンドプロセッサが1台か2台か

内蔵の充電電池の耐用期間は、最低 400 充電サイクルです。

ヒント

リモートアシスタントは内蔵電池を使用しています。この電池はコクレア社のサービスマン以外は取り外しをしないでください。電池を交換するには、リモートアシスタントをコクレア社の修理センターに送付してください。



充電中



充電完了



ヒント

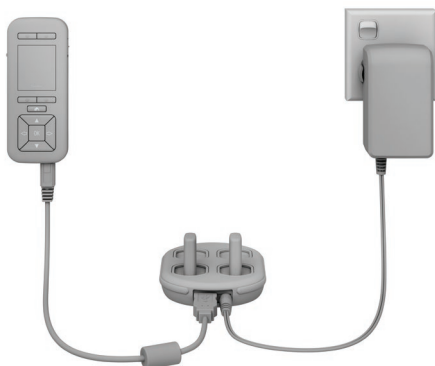
正しく充電されている時は、[充電中]画面が表示され、充電が完了すると[充電完了]画面に変わります。



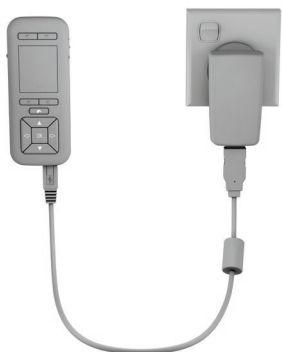
注意

リモートアシスタントの充電には、必ずコクレア社が提供する充電機を使用してください。

リモートアシスタントの充電には3つの方法があります。



- A** Cochlear™ Nucleus® 充電器と Cochlear™ Nucleus® 充電キットを使用する。



- B** Cochlear™ Nucleus® CR200 シリーズ 充電キットを使用する。

注記

リモートアシスタントをコンセントに接続している間は電源を切らないでください。



- C** コンピュータの USB ポートを使用する。リモートアシスタントを充電している間は、コンピュータの電源を入れたままにします。



充電

電源を入れる

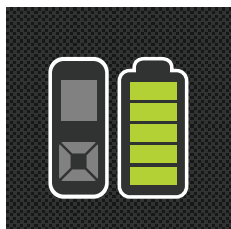
電源を入れる	14
言語の選択	14
ペア設定	15
電源を切る	17

電源を入れる

リモートアシスタントの電源を入れるには、2つの**起動**画面が表示されるまでOK ボタンを長押しします。**起動**画面の後に**電池残量表示**画面と**ホーム**画面が表示されます。



起動画面



電池残量表示画面

注記

リモートアシスタントを初めて使用する際は、ホーム画面ではなく[言語の選択]画面が表示されます。

言語の選択

リモートアシスタントを初めて使用する際は、以下の手順で言語を選択するよう求められます。

1. [言語の選択] 画面が表示されたら、上または下矢印ボタンを押して選択する言語を強調表示します。



ヒント

誤った言語を選択した場合は、リモートアシスタントをリセットすると、やり直すことができます(64 ページの「リモートアシスタントのリセット」を参照)。

注記

リモートアシスタントの電源を切った後も、選択した言語が記憶されています。

2. OK ボタンを押して選択します。

ペア設定

ペア設定を行うと、2つの機器間の通信ができるようになります。

サウンドプロセッサがリモートアシスタントとペア設定されていない場合、**[ペア設定されていません]**画面が表示されます。サウンドプロセッサの送信コイルをリモートアシスタントの裏面に当ててペア設定してください。



ヒント

CP900 シリーズサウンドプロセッサと Kanso サウンドプロセッサのどちらをお持ちの場合でも、耳掛け型の画像が表示されます。

注記

リモートアシスタントとワイヤレスアクセサリのペア設定の詳細については、『Cochlear ワイヤレスアクセサリ取扱説明書』を参照してください。

リモートアシスタントが既にサウンドプロセッサとペア設定されている場合でも、別のサウンドプロセッサともいつでもペア設定することができます。

ペア設定の前に、サウンドプロセッサの電源が入っていることを確認してください。

1. 送信コイル/サウンドプロセッサをリモートアシスタント裏面のコイルマークにあてます。



[ペア設定しますか?]画面が表示されます。

2. OK ボタンを押してペア設定します。



アドバイス

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、2 台目のサウンドプロセッサに対して手順 1 と 2 を繰り返す必要があります。

ペア設定が完了すると、[ペア設定しました]画面が表示された後、ホーム画面に戻ります。



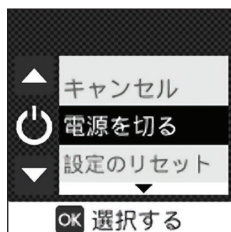
ヒント

1 台のサウンドプロセッサに対して、複数のリモートアシスタントおよびリモートコントロールをペア設定することができます。この機能は、学校と自宅、自宅と病院などを行き来する装用者が、2 つの場所でリモートアシスタントやリモートコントロールを必要とする場合に役立ちます。

電源を切る

リモートアシスタントの電源を切るには

1. メニューが表示されるまで OK ボタンを長押しします。



[電源を切る] が強調表示されています。

2. OK ボタンを押して選択します。



電源を入れる

使用する

状態確認アイコン	20
ホーム画面のプログラム表示	22
練習モード	26
アドバンスモード	28
プラグインオーディオアクセサリ	29
ワイヤレスアクセサリ	30
テレコイル	32
2 台のサウンドプロセッサの操作	34

状態確認アイコン

リモートアシスタントでは、電池残量などサウンドプロセッサの重要な情報を表示することができます。

サウンドプロセッサの状態を確認する

サウンドプロセッサの状態を確認するには、**ホーム**画面で **OK** ボタンを押します。**[状態確認]** アニメーション画面が2つ続けて表示されます。



1つ目の**[状態確認]**画面には、サウンドプロセッサの状態が表示されます。緑色は正常に動作していることを示します。



2つ目の**[状態確認]**画面には、サウンドプロセッサの電池残量とマイクロホンのサウンドレベルの情報が表示されます。

サウンドメーターバー

サウンドメーターバーはサウンドプロセッサのマイクロホンが拾っている音の大きさを表します。



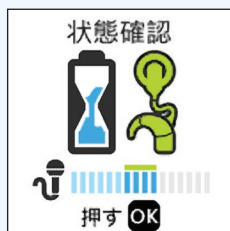
小音量
(20 ~ 50 dBA)



中音量
(50 ~ 70 dBA)



大音量
(70 ~ 100 dBA)



ヒント

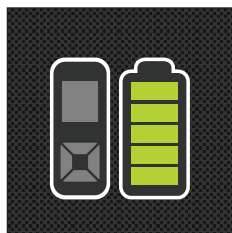
2つ目の [状態確認] 画面に、電池ではなく砂時計が数秒間表示される場合があります。これはリモートアシスタントがサウンドプロセッサからのアップデートを待機中であることを示します。



サウンドプロセッサまたは電池に何らかの不具合が発生している場合は、警告画面が表示されます。60 ページの「警告画面」を参照してください。

リモートアシスタントの電池残量を確認する

リモートアシスタントの電源を入れると、最初にリモートアシスタントの**電池残量**が表示されます。

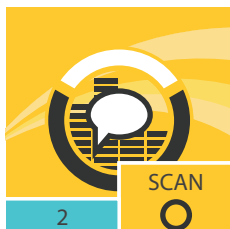


使用する

ホーム画面のプログラム表示

ほとんどの装用者はサウンドプロセッサに 2 つのプログラムを設定していますが、聞こえ方やニーズに応じて 4 つまでのプログラムを病院の先生に設定してもらうことができます。設定されたプログラムは、リモートアシスタントの**ホーム**画面に表示されます。

例：



プログラムが 2 つの場合のホーム画面

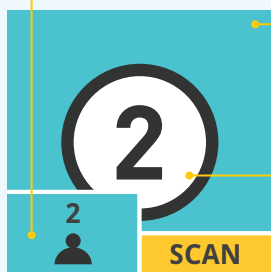


プログラムが 4 つの場合のホーム画面

ヒント

ホーム画面の背景の絵と色は、現在どのプログラムを選択しているかによって異なります。

現在選択しているプログラムのタブは他のものより大きく表示されます。



現在選択しているプログラムと画面の背景の色は同じになります。

画面の絵は現在選択しているプログラムを表します。

SCAN プログラム

SCAN プログラム (病院の先生が設定した場合) を選択している時は、このプログラムが周囲の環境を識別して、現在の聴取環境に合わせてサウンドプロセッサを自動的に調整します。

SCAN プログラムに関連するアイコン



SCAN



静寂下



雑音



話し声



話し声 (雑音下)



風



音楽



使用する

注記

SCAN プログラムに関連するアイコンは [設定] 画面に移動してから [SCAN アイコン] 画面に移動して、非表示にすることができます。SCAN アイコンを非表示にすると、SCAN 機能は正常に動作しますが、ホーム画面のアイコンは変化しません。



カスタムプログラム

ご自身の聴こえ方に合わせたカスタムプログラムを病院の先生に調整してもらった場合、それぞれのカスタムプログラムに合わせて表示するアイコンを設定してもらうことができます。これらのアイコンを見れば、どのプログラムを現在選択しているかが分かります。



1対1



レストラン



ドライブ



遠くの音声



会議



自宅



音楽



屋外



学校



店



テレビ



職場

プログラムの変更

病院の先生にプログラムを4つまで設定してもらうことができます。プログラムの切り替えにはプログラムボタンを使います。



プログラム名ではなく番号で表示

ホーム画面にプログラム名ではなくプログラム番号で表示したい場合は

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。
2. 下矢印ボタンを押して [プログラム番号で表示] を強調表示します。



3. OK ボタンを押して選択します。

ヒント

プログラム名での表示に戻すには、メニューを表示して、[プログラム名で表示] を選択します。

練習モード

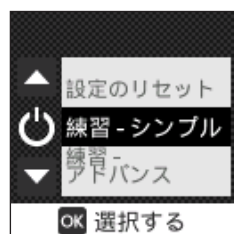
リモートアシスタントを実際に使用する前に、練習モードを利用して使い方に慣れることができます。

アドバイス

練習モードでは、設定に対して行われた調整または変更は保存されず、サウンドプロセッサにも送信されません。

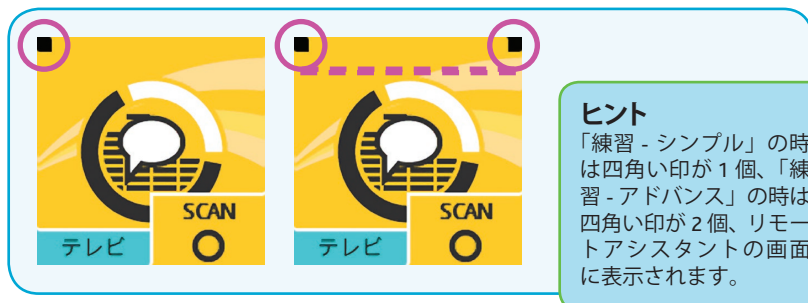
練習モードを開始するには

1. OK ボタンを長押しします。
2. メニューが表示されたら、下矢印ボタンを押して [練習 - シンプル] または [練習 - アドバンス] を強調表示します。



3. OK ボタンを押して選択します。

[練習モード開始] 画面が数秒間表示された後、練習モードのホーム画面が表示されます。



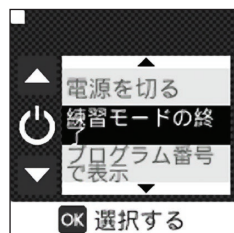
ヒント

「練習 - シンプル」の時は四角い印が1個、「練習 - アドバンス」の時は四角い印が2個、リモートアシスタントの画面に表示されます。

練習モードの終了

練習モードを終了するには

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。



[練習モードの終了] が強調表示されています。

2. OK ボタンを押して選択します。

[練習モード終了] 画面が数秒間表示された後、ホーム画面が表示されます。



使用する

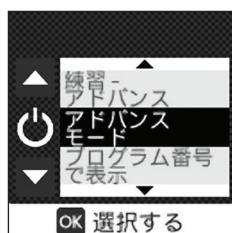
アドバンスモード

リモートアシスタントは初期設定では、シンプルモードに設定されています。シンプルモードでは、聴こえに関する主な機能を使用できます。

必要に応じて、アドバンスモードに切り替えると、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの設定を調整することができます。

アドバンスモードに変更するには

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。
2. 下矢印ボタンを押して [アドバンスモード] を強調表示します。



3. OK ボタンを押して選択します。

アドバンスモードの状態では以下の画面まで移動し、聴こえの調整や設定の変更を行います。



アドバイス

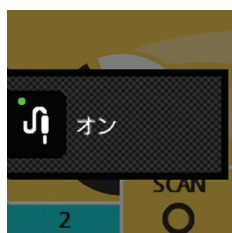
[聴こえの調整] 画面は、病院の先生が有効にした場合にのみ表示されます。

詳細については、41 ページの「主音量」および 44 ページの「設定」を参照してください。

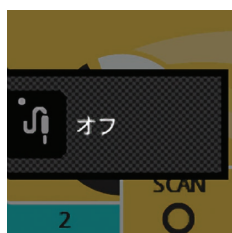
プラグインオーディオアクセサリ

プラグインオーディオアクセサリをサウンドプロセッサに接続すると、リモートアシスタントに「オン」というポップアップが数秒間表示されます。アクセサリが接続されている間は、小さいアイコンがホーム画面の上に重ねて表示され、アクセサリを外すと、「接続解除済み」というポップアップが数秒間表示されます。

例：



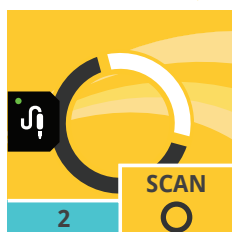
アクセサリを
起動した時



アクセサリを
停止した時



アクセサリを外した時



アクセサリが接続されると、すぐにサウンドプロセッサに音声を送信します。

アクセサリが「オン」の状態の場合、緑色の点の付いた小さいアイコンがホーム画面に表示されます。

アクセサリをサウンドプロセッサに接続したまま、サウンドプロセッサのマイクロホンからの音声を聴くには、アクセサリからの入力を手動で停止する必要があります。接続されているアクセサリを操作（起動/停止）するには、テレコイルボタンを使います。32 ページの「テレコイル」を参照してください。



使用する

ワイヤレスアクセサリ

Cochlear True Wireless ™ (コクレア・トゥルーワイヤレス) アクセサリをサウンドプロセッサとともに使用すると、リモートアシスタントでワイヤレスアクセサリをコントロールし、ステータスをモニタリングできます。

アドバイス

音声ストリーミングする前に、ワイヤレスアクセサリをサウンドプロセッサとペア設定する必要があります。詳しくは、『Cochlear True Wireless アクセサリ取扱説明書』を参照してください。

ミニマイクロホンまたはテレビストリーマーを使用する

1. 音声のストリーミングを開始するには、以下のいずれかを実行します。

テレコイルボタンを長押しします。
ミニマイクロホン/テレビストリーマーのアイコンがホーム画面に表示されます。



ヒント

テレコイルボタンをもう一度長押しすると、ペア設定された次のワイヤレスアクセサリを選択できます。

または

ホーム画面が表示されている状態から、[ストリーム] 選択画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。

使用するチャンネルまでリストを下にスクロールして [OK] を押します。

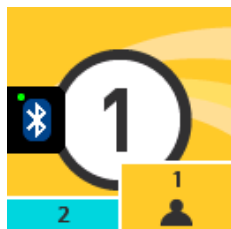


2. ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを実行します。

テレコイルボタンを短く押す、

または

[ストリーム] 選択画面で [オフ] を選択してから、[OK] を押します。



アドバイス

フォークリップのコントロールを使用すると、電話の発信や応答ができます。フォークリップのストリーミング中は、ホーム画面に Bluetooth アイコンとして表示されます。



使用する

テレコイル

テレコイル機能を使用すると、磁気ループからの音やテレコイル対応電話の声を聴くことができます。テレコイル機能には手動によるテレコイルとオートテレコイル(利用できる場合)があり、使用するためには病院の先生にサウンドプロセッサを設定してもらう必要があります。オートテレコイルを起動すると、磁気ループの範囲内にいる時や、テレコイル対応の電話を使う時に、音声信号が自動的に検知されます。

テレコイルをオーディオアクセサリと同時に使用することはできません。

アドバイス

Cochlear Wireless Phone Clip (コクレア ワイヤレス フォーンクリップ) を使用して電話を発信することもできます。30 ページの「ワイヤレスアクセサリ」を参照してください。

テレコイルまたはオートテレコイルを使用するには

1. テレコイルボタンを1回短く押すと、テレコイルが起動します。
2. テレコイルボタンを5秒以内にもう一度短く押すと、オートテレコイルが起動します。
3. テレコイルボタンをもう一度短く押すと、テレコイルまたはオートテレコイルが停止します。

ヒント

サウンドプロセッサを2台お使いで、1台のサウンドプロセッサにアクセサリが接続されている場合、リモートアシスタントのテレコイルボタンまたはサウンドプロセッサのアップボタンを押すとアクセサリを操作できます。



テレコイルまたはオートテレコイルを使用する場合、以下のアイコンがホーム画面に表示されます。



テレコイル

テレコイル オン

サウンドプロセッサに内蔵されたテレコイルが作動中です。



オートテレコイル

オートテレコイル オン (受信中)

オートテレコイルがオンで、サウンドプロセッサが磁気ループまたは電話の通信範囲内にいて信号を検知し、受信している状態です。



オートテレコイル オン (スタンバイ)

オートテレコイルがオンですが、サウンドプロセッサが磁気ループまたは電話からの信号を検知していない状態です。



テレコイルまたはオートテレコイルがオフ

このアイコンは、テレコイルまたはオートテレコイルを停止した時に画面に数秒間表示されます。



注意

オートテレコイルがオンの時に、特定の電子機器または機械からの信号を検知し、受信してしまうことがあります。この場合は、その機器または機械から離れ、オートテレコイルが信号を受信しなくなるまで数秒間待つか、手動でオートテレコイルを停止します。



使用する

2 台のサウンドプロセッサの操作

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、リモートアシスタント画面の (左) および (右) で識別できます。

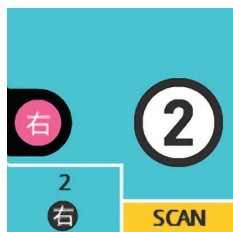
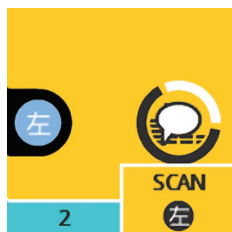
例：



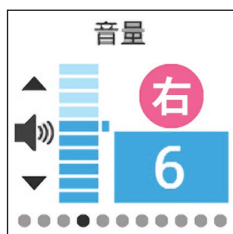
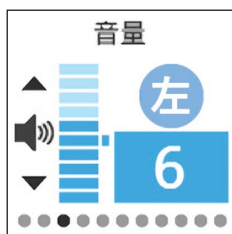
初期設定では、リモートアシスタントによる調整は両側のサウンドプロセッサに対して同時に行われますが、この設定を変更して、2 台のサウンドプロセッサを片側ずつ調整することもできます。47 ページの「左 / 右の調整」を参照してください。

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、アドバンスモード時のオプションでサウンドプロセッサを片側ずつ操作することができます。[左 / 右の調整] 画面 ([設定] 画面から進む) で [片側ずつ] を選択すると、リモートアシスタントに表示される画面に従い、2 台のサウンドプロセッサを片側ずつ調整することができます。

例:



左ホーム画面および右ホーム画面



左音量画面および右音量画面

これらの設定の変更方法の詳細については、47 ページの「左 / 右の調整」を参照してください。



使用する

調整する

音量と感度	39
低音と高音	40
主音量	41

調整する

リモートアシスタントで音量、感度 (対応する場合)、低音、高音、主音量を調整できるように、病院の先生に設定してもらうことができます。

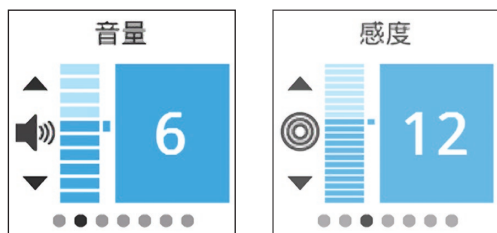
これらの操作がリモートアシスタントに設定されている場合、**ホーム**画面で右矢印ボタンを押すと調整画面に移動することができます。

音量と感度

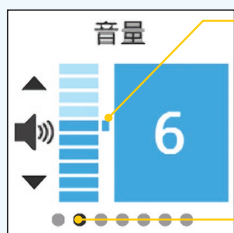
音量は聞こえる音の大きさを調整し、感度は聞こえる音の範囲を調整します (小さな音、背景音、近くや遠くの音など)。最大 10 段階の音量と 21 段階の感度の設定が可能です。

音量または感度レベルを調整するには

1. ホーム画面から、右矢印ボタンを押して [音量] または [感度] 画面に移動します。



2. 上または下矢印ボタンを押して音量または感度を上げ下げします。



これは病院の先生が設定した初期値を示します。

これはホーム画面からいくつ目の画面にいるかを示します。

ヒント

音量 (または設定されている場合は感度) をホーム画面から直接調整するには、上または下矢印ボタンを押します。



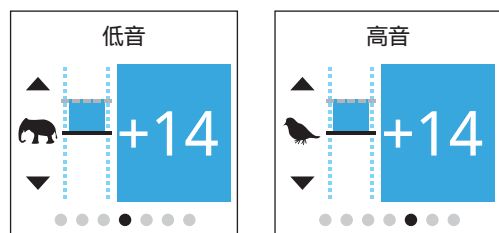
調整する

低音と高音

病院の先生が有効に設定している場合、リモートアシスタントでの低音または高音の聞こえ方を調整することができます。これらの調整は、[低音] または [高音] 画面で行います。

低音または高音レベルを調整するには

1. ホーム画面から、右矢印ボタンを押して [低音] または [高音] 画面に移動します。



2. 上または下矢印ボタンを押して低音または高音レベルを上げ下げします。

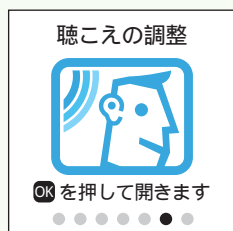
低音および高音のレベルは、-30 ～ +30 の 60 段階あります。

主音量

病院の先生が低音および高音をリモートアシスタントで調整できるよう設定している場合、主音量も調整できます。主音量は、サウンドプロセッサの全体的な音の大きさを調整できます。

主音量レベルを調整するには

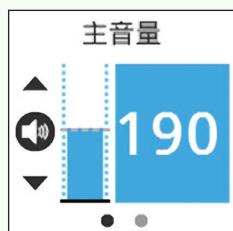
1. ホーム画面から、右矢印ボタンを押して [聴こえの調整] 画面に移動します。



注意

これらのレベルは音や話し声が聞こえる時にのみ調整してください。主音量を上げると大音量や高音レベルで不快感が生じる場合があります。この場合は、送信コイルとサウンドプロセッサを直ちに外してください。送信コイルを戻す前に主音量を下げてください。

2. OK ボタンを押します。



3. [主音量] 画面で、上または下矢印ボタンを押して主音量を上げ下げします。
4. ちょうど良い音量になったら、ホームボタンを押して [聴こえの調整] 画面に戻ります。

主音量レベルの範囲は 0 ～ 255 です。



調整する

設定

テレコイルミキシング比率	45
アクセサリミキシング比率	46
左 / 右の調整	47
サウンドプロセッサのボタン操作	48
サウンドプロセッサのパーソナルアラーム	48
サウンドプロセッサの表示ランプ	49
リモートアシスタントのパブリックアラーム	50
警告画面	52
SCAN アイコン	53

設定

アドバンスモードでは、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの動作方法を変更するための設定にアクセスできます。

[設定] 画面から以下の操作に進めます。

- ・ワイヤレスアクセサリの起動 / 停止
- ・テレコイルとマイクロホンのミキシング比率の調整
- ・アクセサリとマイクロホンのミキシング比率の調整
- ・左 / 右のサウンドプロセッサの調整 (サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合)
- ・サウンドプロセッサのボタン操作のロック / ロック解除
- ・サウンドプロセッサのパーソナルアラームのオン / オフ
- ・サウンドプロセッサの表示ランプのオン / オフ
- ・リモートアシスタントのパブリックアラームの音量調整
- ・ワイヤレスマイクロホンの性能確認
- ・リモートアシスタントの警告画面の表示 / 非表示
- ・リモートアシスタントの SCAN アイコンの表示 / 非表示



ヒント

[設定] 画面に移動するには、ホーム画面で右矢印ボタンを何度か押します。

変更後は、ホームボタンを押すと**[設定]**画面に戻ります。ホームボタンをもう一度押すとホーム画面に戻ります。

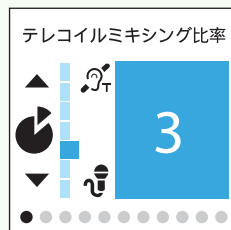


テレコイルミキシング比率

ミキシングは、テレコイルとマイクロホンの入力を合成することができます。

テレコイルとマイクロホンのミキシング比率を調整するには

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. [テレコイルミキシング比率] 画面が表示されたら、上または下矢印ボタンを押してミキシング比率を変更します。



画面の数字は、ミキシングするテレコイルの音とマイクロホンの音の比率を示します。

数字	音声ミキシング比率
100	すべてテレコイル (100%)
6	テレコイル 6 に対しマイクロホン 1
5	テレコイル 5 に対しマイクロホン 1
4	テレコイル 4 に対しマイクロホン 1
3	テレコイル 3 に対しマイクロホン 1
2	テレコイル 2 に対しマイクロホン 1
1	テレコイル 1 に対しマイクロホン 1

ヒント

テレコイル入力の比率を高くして背景音を下げするには、[テレコイルミキシング比率] 画面に表示される数字を大きくします。テレコイル使用時に背景音をもっと聞こえるようにするには、数字を小さくします。

アクセサリミキシング比率

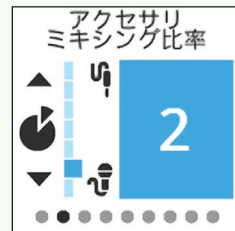
ワイヤレスまたはプラグインアクセサリとマイクロホンのミキシング比率を調整する (ワイヤレスミニマイクロホンを使って音楽を聴く場合など) には

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [アクセサリミキシング比率] 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押してミキシング比率を変更します。

画面の数字は、ミキシングするアクセサリの音とマイクロホンの音の比率を示します。



ワイヤレスアクセサリ



プラグインオーディオアクセサリ

数字	音声ミキシング比率
100	すべてアクセサリ (100%)
6	アクセサリ 6 に対しマイクロホン 1
5	アクセサリ 5 に対しマイクロホン 1
4	アクセサリ 4 に対しマイクロホン 1
3	アクセサリ 3 に対しマイクロホン 1
2	アクセサリ 2 に対しマイクロホン 1
1	アクセサリ 1 に対しマイクロホン 1

ヒント

アクセサリ入力の比率を高くして背景音を下げるには、[アクセサリミキシング比率] 画面に表示される数字を大きくします。アクセサリ使用時に背景音をもっと聞こえるようにするには、数字を小さくします。



左 / 右の調整

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、リモートアシスタントでサウンドプロセッサを両側同時に、または片側ずつ調整することができます。

この設定を調整するには

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [左 / 右の調整] 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押します。2 つのサウンドプロセッサを調整する場合は、[両側同時] を強調表示します。1 つのサウンドプロセッサを調整する場合は、[片側ずつ] を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



これらの機能の詳細については、34 ページの「2 台のサウンドプロセッサの操作」を参照してください。

アドバイス

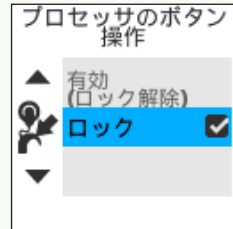
この機能は 2 台のサウンドプロセッサをお使いの場合のみ利用可能です。

サウンドプロセッサの ボタン操作

誤ってボタンを押して設定を変更してしまわないように、サウンドプロセッサのボタンをロックすることができます。

サウンドプロセッサのボタン操作をロックするには

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [プロセッサのボタン操作] 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して [有効 (ロック解除)] または [ロック] を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



サウンドプロセッサのパーソナルアラーム

パーソナルアラームはオンとオフの切り替えができます。

パーソナルアラームを変更するには

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [パーソナルアラーム] 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して [オフ] または [オン] を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



アドバイス

パーソナルアラームは人工内耳装用者にのみ聞こえます。



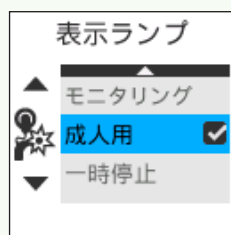
サウンドプロセッサの表示ランプ

サウンドプロセッサの各種表示ランプはオン/オフの切り替えができます。以下の表に様々なオプションを示します。

表示のタイプ				
	 キーを押す	 警告	 マイクロホンの動作	 テレコイル / FM アクセサリ
オプション	表示の有無			
小児用	あり	あり	あり	あり
モニタリング				
サウンドプロセッサがインプラントに接している場合	あり	あり	なし	なし
サウンドプロセッサがインプラントから離れている場合	あり	あり	なし	あり
成人用				
サウンドプロセッサがインプラントに接している場合	なし	なし	なし	なし
サウンドプロセッサがインプラントから離れている場合	あり	あり	なし	なし
一時停止	なし	なし	なし	なし

サウンドプロセッサの表示ランプを変更するには

1. **[設定]** 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して **[表示ランプ]** 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して **[小児用]**、**[モニタリング]**、**[成人用]** または **[一時停止]** を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



アドバイス

[一時停止] は臨時モードです。サウンドプロセッサの電源を切ってから再度電源を入れると、サウンドプロセッサの表示ランプは病院の先生が設定したモードに戻ります。

リモートアシスタントの パブリックアラーム

アドバンスモードでは、パブリックアラームやキー操作音の音量を調整することができます。

リモートアシスタントのパブリックアラームを調整するには

1. **[設定]** 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して **[パブリックアラーム]** 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して **[オフ]**、**[小]** または **[大]** を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



ワイヤレスマイクロホンの確認

サウンドプロセッサマイクロホンから受信した信号レベルと、ミニマイクロホン (MM) や FM 機器などのリモートマイクロホンから受信した信号を測定して比較することができます。

アドバイス

この操作を行う前に、背景雑音のない静かな場所を選択します。



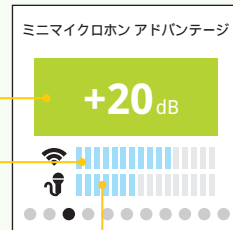
ワイヤレスマイクロホンの性能を確認するには：

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [MM/FM アドバンテージ] 画面に移動します。
3. OK ボタンを押して選択します。

C. 効果 (dB)

B. MM/FM レベル

A. サウンドプロセッサのマイクロホンレベル



- A. 下部には**サウンドプロセッサマイクロホンレベル**を示す棒グラフが表示されます。
- B. 中央には**MM/FM レベル**を示す棒グラフが表示されます。これが、ワイヤレスアクセサリのサウンドレベルです。
- C. リモートマイクロホンからの入力とサウンドプロセッサのマイクロホンからの入力の差をデシベル (dB) で測定します。この数値は、装用者がリモートマイクロホンから得られる**聴こえの効果 (dB 単位)** を示しています。数値がマイナスの値になる場合、リモートマイクロホンの音量を調整する必要があるか、測定中に背景雑音が多すぎることが考えられます。



設定

警告画面

警告画面は、サウンドプロセッサまたはリモートアシスタントで起こりうる問題、たとえば電池残量低下などの情報を提供します。ただし、警告画面は設定を変更して表示 / 非表示を切り替えることができます。

警告画面の設定を変更するには

1. [設定] 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して [警告画面] に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して [非表示] または [表示] を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。



詳細については、60 ページの「警告画面」を参照してください。

SCAN アイコン

SCAN プログラムを使用している場合、**ホーム**画面に表示されるアイコンは、サウンドプロセッサが検知した聴取環境のタイプを示します。

この設定を変更して SCAN アイコンの表示 / 非表示を切り替えることができます。

SCAN アイコンの設定を変更するには

1. **[設定]** 画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して **[SCAN アイコン]** 画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して **[非表示]** または **[表示]** を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

詳細については、23 ページの「SCAN プログラム」を参照してください。



お手入れ

	清掃	56
リモートアシスタントが濡れた場合		56
	保管	57

清掃

リモートアシスタントは濡らさないよう注意してください。

リモートアシスタントは、ディスプレイと操作ボタンを乾いた柔らかい布で拭いて清潔に保ってください。



警告

リモートアシスタントを乾燥させるために、オープン、電子レンジ、その他の電気または加熱機器を使用しないでください。

アドバイス

リモートアシスタントのお手入れに、アルコール、家庭用の洗剤または研磨剤を使用しないでください。



リモートアシスタントが濡れた場合

1. リモートアシスタントの電源を切ります。
2. 乾いた柔らかい布で拭きます。
3. リモートアシスタントを約 12 時間乾燥させます。

保管

リモートアシスタントを衝撃や傷から守るため、コクレア社は Cochlear™ Nucleus® CR200 シリーズの保護カバーの使用を推奨します。



リモートアシスタントを保護カバーに入れたまま使用すると、通信範囲が若干狭まる可能性があります。この場合は、リモートアシスタントをサウンドプロセッサに近付けるか、リモートアシスタントを保護カバーから出して使用してください。

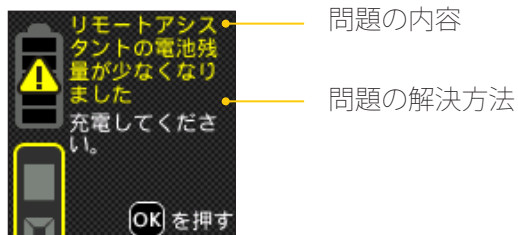


トラブルシューティング

警告画面	60
システムの詳細の表示	62
サウンドプロセッサの設定のリセット	63
リモートアシスタントのリセット	64
その他の問題	65

警告画面

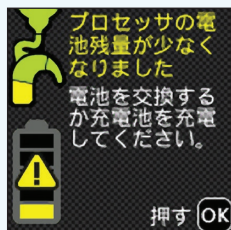
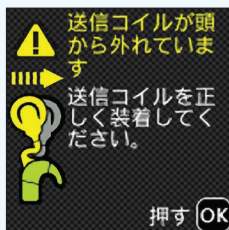
何らかの問題が発生すると、リモートアシスタントに警告画面が表示されます。これらの画面には、問題の解決に役立つトラブルシューティング情報も表示されます。



警告は注意を促すためのメッセージ (電池残量低下など) の場合もありますが、リモートアシスタントの使用を続ける前に実施が必要な対処を示す警告もあります (電池切れなど)。

ヒント

問題のある部分 (送信コイル、電池、プロセッシングユニットなど) が黄色に点滅します。



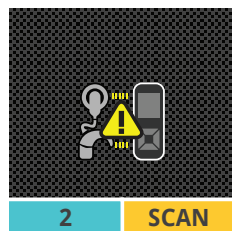
ロック中の警告

リモートアシスタントの操作ボタンのロック中に警告が発生した場合、リモートアシスタントのパブリックアラームが鳴り、画面が復帰して[ロック]画面と警告が表示されます。リモートアシスタントの操作ボタンのロックを解除して警告された内容を解決してください。



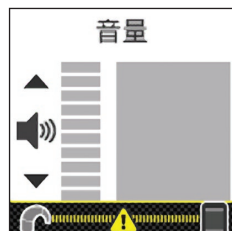
通信範囲外警告

通信範囲外の場合、警告がホーム画面上とすべての移動先画面の下部に表示されます。ただし、アラーム音による警告は鳴りません。



通信範囲外での調整

通信範囲外でサウンドプロセッサを調整すると、画面全体に通信範囲外警告が表示されます。OK ボタンを押すと警告が消えます。その後、直前に表示していた画面に戻ります。



システムの詳細の表示

アドバンスモードでは以下のようなシステムの詳細を表示することができます。

- ・ リモートアシスタントのバージョン
- ・ サウンドプロセッサのバージョン
- ・ シリアル番号

システムの詳細を表示するには

1. ホーム画面から、右矢印ボタンを押して [設定] 画面に移動します。
2. OK ボタンを押します。
3. [プロセッサの情報] および [RA (リモートアシスタント) の情報] 画面が表示されるまで右矢印ボタンを何度か押します。



ヒント

ホームボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。ホームボタンをもう一度押すと、ホーム画面に戻ります。

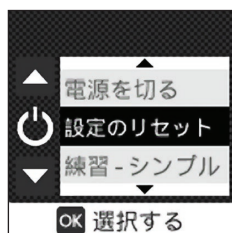


サウンドプロセッサの設定のリセット

サウンドプロセッサを病院の先生が設定した初期設定に戻すには、リモートアシスタントで **[設定のリセット]** を選択します。これにより、音量、感度、およびすべてのアドバンスモードオプションがリセットされます。

サウンドプロセッサの設定をリセットするには

1. メニューが表示されるまで OK ボタンを長押しします。
2. 上または下矢印ボタンを押して **[設定のリセット]** を強調表示します。



アドバイス

サウンドプロセッサとのペア設定を行っていない場合、**[設定のリセット]** にはアクセスできませんが、リセットされるのは **[パブリックアラーム]** と **[警告画面]** だけです。

3. OK ボタンを押して選択します。



リモートアシスタントのリセット

ホームボタンが機能しない、またはリモートアシスタントがフリーズした場合、先の尖ったものでリモートアシスタント裏面のリセットボタンを押すと、リセットすることができます。

これによりリモートアシスタントが初期設定に戻ります。

以下を再び行う必要があります。

- 言語の選択
- リモートアシスタントのパブリックアラームの音量の設定 (初期設定は [**大**])
- リモートアシスタントとサウンドプロセッサのペア設定
- 警告画面の表示 / 非表示の設定 (初期設定は [**表示**])
- SCAN アイコンの表示 / 非表示の設定 (初期設定は [**表示**])
- シンプルモードまたはアドバンスモードの選択 (初期設定は [**シンプルモード**])
- サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、左 / 右の調整の設定 (初期設定は [**両側同時**])



その他の問題

問題	解決策
サウンドプロセッサが利用不可	1. サウンドプロセッサの電源が入っていて、リモートアシスタントから 2 メートルの範囲内にあることを確認します。14 ページの「電源を入れる」を参照してください。 2. サウンドプロセッサがリモートアシスタントとペア設定されていることを確認します。15 ページの「ペア設定」を参照してください。 3. 別の場所へ移動します。 4. サウンドプロセッサとリモートアシスタントを再度ペア設定します。 5. サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、トラブルシューティングのため正しい側が選択され表示されていることを確認します。47 ページの「左/右の調整」を参照してください。 6. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。
キーを押しても反応しない	1. リモートアシスタントの操作ボタンがロックされている時にキーを押すと、[ロック] 画面が表示され、アラーム音 (パブリックアラーム) が聞こえます。この場合は、ロックを解除してください。4 ページの「ロック/ロック解除」を参照してください。 2. 別のプログラムに変更してみてください。25 ページの「プログラムの変更」を参照してください。 3. 別のキーを押してみてください。 4. 正しいキーを押していることを確認してください。 5. リモートアシスタント裏面のリセットボタンを押します。64 ページの「リモートアシスタントのリセット」を参照してください。 6. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。



問題

解決策

リモートアシスタントの内蔵充電電池の減りが速い

1. リモートアシスタントのキーがハンドバックやポケットの中身などによって押されていないか確認します。リモートアシスタントをロックして内蔵充電電池の電力を節約します。
2. 充電した時は、コンセントを抜く前に、充電完了を示す電池のチェックマークが画面に表示されていることを確認してください。
3. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。

リモートアシスタントが充電されない

1. 接続を確認します。
2. リモートアシスタントの USB コネクタをチェックし、損傷や汚れがないことを確認します。
3. リモートアシスタントをコンピュータを使って充電している場合、コンピュータの電源が入っていてスリープ状態ではないことを確認します。
4. USB ケーブルと電源アダプタ (Cochlear Nucleus CR200 シリーズ充電キットに付属) を使って、リモートアシスタントを充電してください。
10 ページの「リモートアシスタントの充電」を参照してください。
5. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。

リモートアシスタントが濡れた場合

1. リモートアシスタントをオフにして乾いた柔らかい布で拭き、リモートアシスタントを約 12 時間乾燥させます。56 ページの「リモートアシスタントが濡れた場合」を参照してください。



警告

- ・ リモートアシスタントがいつもよりも熱くなっている場合は、使用しないでください。すぐに病院の先生に知らせてください。
- ・ リモートアシスタントの充電には、コクレア社が提供する充電機器のみを使用してください。
- ・ リモートアシスタントを体内(口の中など)に入れないでください。
- ・ サウンドプロセッサ、送信コイル、イヤフックがジュエリー(イヤリングなど)に引っかかったり、機械に巻き込まれないようにしてください。
- ・ 保護者や介助者の目の届かない所で、お子さまなどが長いケーブル(USBケーブルなど)を使用すると、首が絞まってしまう恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 運転中はリモートアシスタントの操作をしないでください。
- ・ 汚れた埃っぽい場所や、極端に高温または低温になる場所で機器を使用または保管しないでください(たとえば、直射日光の当たる場所、窓の側、車の中などに長期間置かないでください)。
- ・ リモートアシスタントをバッグやポケットに他の物と一緒に入れる時は、ディスプレイに傷がつかないように注意してください。市販の保護フィルムを使って、リモートアシスタントのディスプレイを傷から保護することもできます。
- ・ 湿気や埃が多い場所では、リモートアシスタントを保護してください。
- ・ リモートアシスタントは濡らさないよう注意してください。
- ・ リモートアシスタントの表面を拭く場合は、乾いた柔らかい布のみを使用してください。
- ・ リモートアシスタントを乾かす際は、業務用または家庭用電気機器を使用しないでください。
- ・ リモートアシスタントのディスプレイを曲げたり、強く押したりしないでください。
- ・ USB ケーブルを抜き差しする際、またはリモートアシスタントのボタンを使用する際に力を入れ過ぎないでください。
- ・ 分解したり、変形させたり、水に浸したりしないでください。リモートアシスタントが正常に機能しない場合は、病院の先生にご相談ください。分解した場合、保証は無効になります。
- ・ 電池を取り外さないでください。コクレア社のサービスマン以外は電池の取り外しをしないでください。
- ・ 電気部品は各地域の規制に従って処分してください。
- ・ リモートアシスタントの充電にコンピュータを使用する場合、各地域の規制によって要求される、情報技術機器の安全性規格 IEC 60950 に準拠していることを示すマークがコンピュータに付いていることを確認してください。
- ・ この機器の改造は許可されていません。

その他の情報

物理構成

リモートアシスタントは以下で構成されます。

- ・ カスタムなアナログおよびデジタル集積回路: マイクロプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えています。
- ・ ボタンとスライダ: サウンドプロセッサとリモートコントロールを操作するために使用します。
- ・ ディスプレイ: システムの状態と動作が表示されます。
- ・ スピーカー: アラーム音 (パブリックアラーム) を発します。
- ・ コイルセンサ: 送信コイルが音声信号をサウンドプロセッサから受信していることを確認します。ペア設定にも使用します。
- ・ 内蔵電池充電回路。
- ・ 電池の安全性のための温度センサー。
- ・ フェライトビーズ付き micro USB コネクタ: リモートアシスタントの充電とファームウェアのアップデートに使用します。

材質

非金属ボタンを含むリモートアシスタントの筐体はポリカーボネート製です。

ワイヤレス通信接続

リモートアシスタントのワイヤレス通信接続は、GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying) を 5 つのチャンネルで用いて、2.4 GHz ISM 帯域で行います。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作できます。干渉が発生した場合、ワイヤレス通信接続は、5 チャンネルの中で最も干渉の影響が低いものに切り替わります。サウンドプロセッサが操作範囲内にない場合や、干渉によって通信接続が妨害された場合には、リモートアシスタントのディスプレイに表示されます。

電池寿命、充電サイクルおよび耐用期間

- 電池寿命とは、空気垂鉛電池の交換または充電池の充電が必要となるまでの機器が動作する時間を意味します。
- 充電池の充電サイクルとは、1 回のフル充電と放電を意味します。
- 充電池の耐用期間とは、充電池の電池寿命が低下して、機器の動作する時間が当初のフル充電時の 80 % となるまでの充電サイクルの合計数を意味します。

寸法

構成部品	長さ	幅	厚さ
CR230 リモートアシスタント	110.8 mm	46.3 mm	14.0 mm

重量

構成部品	重量
CR230 リモートアシスタント	66 g

動作特性

特性	値 / 範囲
ワイヤレス技術	専用の低電力双方向ワイヤレス接続
無線周波数	2.4 GHz
電池の動作時電圧	3.7 V
電池の充電時電圧	4.2 V
電池容量	680 mAh (内蔵リチウムイオン電池)
充電サイクル	室温で 400 回の充電 / 放電サイクル後に 80% 以上の容量
ボタンとスライダの機能	リモートアシスタントのオン / オフ、テレコイル / オートテレコイルのオン / オフ、ロック / ロック解除、オプションの選択、画面の移動、プログラムと設定の変更
ワイヤレス通信の範囲	最大 2 メートル
ディスプレイ	128 x 128 ピクセル、カラー LCD

環境条件

条件	最小値	最大値
保管および輸送時の温度	-10°C (14°F)	+55°C (+131°F)
保管および輸送時の湿度	0% RH	90% RH
動作時の温度	+5°C (+41°F)	+40°C (+104°F)
動作時の相対湿度	0% RH	90% RH
動作時の気圧	700 hPa	1060 hPa

環境保護

リモートアシスタントには、電気 / 電子機器の廃棄に関する EC 指令 2002/96/EC の対象である電子部品が含まれています。

環境を保護するために、分別していない家庭ごみと一緒にリモートアシスタントを廃棄しないでください。リモートアシスタントは、各地域の規制に従ってリサイクルしてください。

機器の分類

リモートアシスタントは、国際規格 IEC 60601-1:2005「Medical Electrical Equipment – Part 1: General Requirements for Basic Safety and Essential Performance (医療電気機器 - パート 1: 基本的な安全および基本重要性能に関する一般要件)」に記載されている、内部電源機器タイプ B 適用部品です。

日本での無線規定遵守

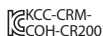
本機器は、日本の電波法 (電波法) およびその関連法 (電気通信事業法) に基づいて認証されています。

本機器を改造してはいけません (改造した場合は技術基準適合証明番号が無効になります)。



韓国での無線規定遵守

警告: 本無線機器は、操作中に無線干渉の可能性があります。



米国連邦通信委員会 (FCC) およびカナダ産業省 (IC) の規定遵守

本機器は、米国 FCC 規定パート 15、ならびにカナダ産業省の RSS-210 に準拠しています。本機器の使用は、以下の 2 つの項目を条件とします。

- 本機器によって有害な干渉が発生しないこと。
- 本機器が外部からの干渉を許容すること (望ましくない動作の原因となるものも含む)。

コクレア社からの明示的な承認を得ずに、本機器を改造または修正した場合は、本機器を使用するための FCC 認可が無効となることがあります。

本機器は、FCC 規定パート 15 に従って、クラス B デジタル機器に課せられる制限に準拠していることが試験によって確認されています。これらの制限は、本機器を住宅地域で使用した際に有害な干渉を適正に防ぐため設けられています。

本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用するほか、これを放射する可能性があります。説明書の指示に従って使用しないと、無線通信に対して有害な干渉を引き起こす原因となります。ただし、特定の方法で使用した場合に、干渉が生じないという保証はありません。本機器の電源をオン/オフにすることによって、ラジオやテレビ受信機が有害な干渉を受ける原因となっていると判明した場合には、以下の方法で干渉を取り除くことを推奨します。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別のコンセントまたは回路に本機器を接続する。
- 販売店や、ラジオ / テレビの技術者に相談する。

FCC ID: WTOR200FF

IC ID: 8039A-R200FF

表示記号

サウンドプロセッサおよびリモートの各構成部品およびパッケージには、以下の記号が表示されていることがあります。



取扱説明書を参照



ラベルには表記されない、機器に関連する具体的な警告または注意



製造業者



欧州共同体における正式代表者



カタログ番号



シリアル番号



バッチコード



製造年月日



温度制限



湿度制限



公認認証機関番号が付いた CE 登録マーク。



オーストラリアおよびニュージーランドでの無線規格適合証明



日本での無線規格適合証明 (技適マーク)



韓国での無線規格適合証明



再使用禁止

Rx Only

医家向け



リサイクル可能な材料



電気部品は各地域の規制に従って処分してください



リチウムイオン電池は各地域の規定に従って処分してください



水に濡らさないでください



コイルマーク。ペア設定の際に、リモートアシスタントまたはリモートコントロールのこのマークに送信コイルを当ててください。

法的事項

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

本書は日本の添付文書を補足するものであり、添付文書の内容が優先されます。

© Cochlear Limited 2017

Cochlear™



Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia

Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia

Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany

Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770

Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA

Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025

Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada

Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083

Cochlear AG EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland

Tel: +41 61 205 8204 Fax: +41 61 205 8205

Cochlear Europe Ltd 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom

Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426

Cochlear Benelux NV Schalienhoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium

Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70

Cochlear France S.A.S. 135 Route de Saint-Simon, 31035 Toulouse, France

Tel: +33 5 34 63 85 85 (International) or 0805 200 016 (National) Fax: +33 5 34 63 85 80

Cochlear Italia S.r.l. Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy

Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62

Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden

Tel: +46 31 335 14 61 Fax: +46 31 335 14 60

Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.

Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-İstanbul, Turkey

Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919

Cochlear (HK) Limited Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR

Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183

Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon Building 33, Teheran-ro 8 gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Tel: +82 2 533 4450 Fax: +82 2 533 8408

Cochlear Medical Device (Beijing) Co., Ltd

Unit 2208-2212, Tower B, Germdale Building, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China

Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900

Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.

Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India

Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100

株式会社日本コクレア (Nihon Cochlear Co Ltd) 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル

Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245

Cochlear Middle East FZ-LLC

Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates

Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925

Cochlear Latinoamérica S.A.

International Business Park, Building 3835, Office 403, Panama Pacifico, Panama

Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218

Cochlear NZ Limited

Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand

Tel: + 64 9 914 1983 Fax: 0800 886 036

www.cochlear.com

販売名: Nucleus 6 人工内耳システムサウンドプロセッサ

承認番号: 22500BZX00513000

販売名: Kanso サウンドプロセッサ

承認番号: 22900BZX00220000

ACE、Advance Off-Stylet、AOS、AutoNRT、Autosensitivity、Beam、Button、Carina、Cochlear、コクレア、Codacs、Contour、Contour Advance、Custom Sound、ESPrit、Freedom、Hear now.And always」、Hybrid、inHear、Invisible Hearing、Kanso、MET、MP3000、myCochlear、NRT、Nucleus、科利耳、Off-Stylet、SmartSound、Softip、SPrint、楕円形のロゴ、Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium、Baha、Baha Divino、Baha Intenso、Baha PureSound、Baha SoftWear、BCDrive、DermaLock、Vistafix および WindShield は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。

© Cochlear Limited 2017

Hear now. And always

466334 ISS3

Japanese translation of 472007 ISS4 JUL17